

令和6年度 学校教育診断票 結果（教職員）

大阪府立思斉支援学校

	教職員数	回収数	回収率
小学部	39	38	97%
中学部	37	37	100%
高等部	62	61	98%
無回答		2	
計	138	138	100.0%

肯定的 90%以上
否定的 20%以上
 前年比10%以上UP

		A	B	C	D	F
		よく あてはまる	やや あてはまる	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	無回答
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	81 59%	49 36%	6 4%	0 0%	2 1%
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	39 28%	84 61%	13 9%	0 0%	2 1%
3	指導内容については、児童・生徒の実態に合うように、教職員間で話し合いがもたれている。	67 49%	61 44%	7 5%	1 1%	2 1%
4	児童・生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている。	80 58%	51 37%	4 3%	1 1%	2 1%
5	学習形態の工夫・改善を行っている。	78 57%	53 38%	4 3%	1 1%	2 1%
6	教職員はカウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。	53 38%	70 51%	11 8%	2 1%	2 1%
7	教育相談体制が整備されており、児童・生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	55 40%	63 46%	17 12%	1 1%	2 1%
8	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	64 46%	58 42%	12 9%	2 1%	2 1%
9	生活指導において、家庭や関係諸機関と連携がとれている。	61 44%	70 51%	4 3%	1 1%	2 1%
10	児童・生徒一人ひとりが興味・関心、適正に応じて進路選択できるよう、発達段階や実態に応じた指導を行っている。	59 43%	70 51%	6 4%	1 1%	2 1%
11	学校行事が児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	64 46%	66 48%	5 4%	1 1%	2 1%
12	ハラスメント・体罰・不適切な指導の防止をはじめ、すべての教育活動において、人権尊重の姿勢に基づいた支援・指導が行われている。	68 49%	59 43%	6 4%	3 2%	2 1%
13	ヒヤリハット報告が共有され、学校の諸活動において安全指導が徹底している。	57 41%	63 46%	14 10%	2 1%	2 1%
14	学校教育のあらゆる場を通じて防災教育を行っている。	46 33%	71 51%	17 12%	2 1%	2 1%
15	校長は、自らの教育理念や学校経営についての考え方を明らかにしている。	52 38%	65 47%	13 9%	6 4%	2 1%

		A よく あてはまる	B やや あてはまる	C あまりあては まらない	D まったくあて はまらない	F 無回答
16	学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。	53 38%	65 47%	11 8%	7 5%	2 1%
17	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	37 27%	70 51%	20 14%	9 7%	2 1%
18	教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	33 24%	64 46%	29 21%	10 7%	2 1%
19	各分掌や各学部、学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。	38 28%	68 49%	27 20%	3 2%	2 1%
20	教職員の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	46 33%	67 49%	20 14%	3 2%	2 1%
21	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。	57 41%	60 43%	14 10%	5 4%	2 1%
22	学校は働き方改善を進めるために、様々なチャレンジ（定時退庁日の設定・デジタルサイネージの活用・タブレット端末の活用による会議のペーパーレス化を進める等）を試みている。	69 50%	61 44%	5 4%	1 1%	2 1%
23	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。	45 33%	79 57%	11 8%	1 1%	2 1%
24	事故・事件、災害等に対して、迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	44 32%	79 57%	13 9%	0 0%	2 1%
25	施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。	50 36%	70 51%	14 10%	2 1%	2 1%
26	タブレット等のICT機器が、各教科の授業や公務で活用する機会が増えた。	86 62%	46 33%	3 2%	1 1%	2 1%
27	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	81 59%	47 34%	8 6%	0 0%	2 1%
28	研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。	81 59%	49 36%	6 4%	0 0%	2 1%
29	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	60 43%	60 43%	11 8%	5 4%	2 1%
30	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。	75 54%	52 38%	7 5%	2 1%	2 1%
31	教員間で授業方法等について、検討する機会を設けている。	56 41%	58 42%	19 14%	3 2%	2 1%

		A よく あてはまる	B やや あてはまる	C あまりあては まらない	D まったくあて はまらない	F 無回答
32	個人情報の観点から、児童・生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	73 53%	56 41%	6 4%	1 1%	2 1%
33	教育活動に必要な情報について、児童・生徒・保護者や地域への周知に努めている。	63 46%	65 47%	7 5%	1 1%	2 1%
34	情報提供の手段として、学校のホームページ・Googleドライブ及びメールサービス（ミマモルメ）が活用されている。	97 70%	36 26%	3 2%	0 0%	2 1%
35	近隣の小・中・高等学校との交流の機会を積極的に設けている。	56 41%	65 47%	12 9%	3 2%	2 1%
36	個別の指導計画、個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している。	75 54%	54 39%	6 4%	1 1%	2 1%
37	個別の指導計画、個別の教育支援計画は、懇談や文書等で保護者に開示し、説明している。	83 60%	52 38%	1 1%	0 0%	2 1%
38	個別の指導計画について、教職員の共通理解を図り、児童・生徒個々の支援・指導に活用している。	68 49%	64 46%	4 3%	0 0%	2 1%
39	児童・生徒の興味・関心、発達段階や実態に応じて、キャリア教育、自立活動の観点を取り入れた支援・指導を行っている。	64 46%	65 47%	5 4%	2 1%	2 1%

※小数点以下四捨五入